

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

2019年度動物の行動と管理学会役員会（日本家畜管理学会・応用動物行動学会合同評議員会）・総会資料

役員会（評議員会）

日時：2019年3月30日（土）12:15～13:15

場所：麻布大学8号館5階8501教室

総会

日時：2019年3月31日（土）11:00～12:00

場所：麻布大学生命環境科学部棟101講義室

1. 開会

2. 会長挨拶（山田会長）

3. 議事

1) 2018年度活動報告

(1) 庶務

(2) 編集

(3) 会員

(4) 会計

(5) 会計監査報告

2) 動物の行動と管理学会の設立について

3) 2019年度事業計画（案）

(1) 庶務

(2) 編集

(3) 会計

4) その他

4. 閉会

## 議事

### 1) 2018年度活動報告

#### (1) 庶務

##### ①評議員、総会の開催（八代田、出口）

- ・ 2018年3月30日 東京大学農学部において、12:15～13:00の間に、日本家畜管理学会、応用動物行動学会合同評議員会を開催した。
- ・ 2018年3月31日 東京大学農学部において、11:15～12:15の間に、日本家畜管理学会、応用動物行動学会合同総会を開催した。
- ・ 2018年9月23日 メーリングリストにおいて、9月23日～26日の間に、臨時総会を開催した。

##### ②研究発表会、シンポジウムの開催（八代田、出口）

- ・ 2018年3月30日 東京大学農学部において、2018年度春季研究発表会を開催し、45題の発表があった（口頭発表20題、ポスター発表25題）。
- ・ 2018年3月31日 9:00～11:00 東京大学農学部において、応用動物行動学会・日本家畜管理学会 共催シンポジウム「原点は家畜管理～応用動物行動学・動物管理学の始まりを知る～」を開催した。

#### 話題提供

家畜管理学から動物管理学へ～ウシ・ウマからの始まり～（近藤誠司：北海道大学）  
家畜管理学、家畜行動学、そして応用動物行動学（田中智夫：麻布大学）

##### ③国際応用動物行動学会派遣等基金による ISAE2018 への参加助成（二宮）

3月19日～4月20日まで募集を行った。応募件数は0だったため、今年度の助成は行わなかった。

また、ISAE2016 への参加助成者（岐阜大、中山ふうこ）による論文の投稿、受理を確認した。

##### ④HPおよびメーリングリスト（伊藤）

応用動物行動学会および家畜管理学会のHP・MLの管理を行った。採用情報等はFBページに掲載した。

##### ⑤メール会議（資料1）（八代田・出口）

##### ⑥応用動物行動学会ニュースレター（深澤）

- ・ 計画通り5月、10月、1月の3回発行した。

#### (2) 編集（青山）

・ 学会誌「Animal Behaviour and Management」について、第54巻として、以下の通り4号（188頁）を発行した。2018年度における掲載論文数は原著論文9編であった。3月1日時点で審査終了が4編、昨年度3月からのReject（取り下げ含む）は3編あった。また、現在、審査中が10編ある。

号数	発行日	ページ数 (ページ番号)	掲載内容(投稿規程・会則を除く)
----	-----	-----------------	------------------

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

1	2018年 3月25日	58(1-58)	学会記事 日本家畜管理学会・応用動物行動学会合同2018年度 春季発表会プログラム・要旨
2	2018年 6月25日	54(59-112)	原著論文(和文)1編 原著論文(英文)2編 書評1編 シンポジウム報告1編 学会記事
3	2018年 9月25日	38(113-150)	原著論文(英文)3編 学会記事
4	2018年 12月25日	38(151-188)	原著論文(和文)1編 原著論文(英文)2編 報告1編 学会記事

(3) 会員 (小針、瀬尾)

- ・日本家畜管理学会

	名誉会員	普通会員	講読会員	賛助会員
2018年3月1日	5名	144名	8社(9口)	3社
入会	0	6	0社	0
退会	0	39	0社	1
2019年3月1日	5名	111名	8社(9口)	2社

統合に伴う退会希望者 10名

統合学会継続意思不明につき退会処理者 23名

そのうち学会統合に伴う旧会費未納による退会処理予定普通会員 14名(再入会不可対象者)

そのうち会費3年間未納による強制退会普通会員 4名(再入会不可対象者)

- ・応用動物行動学会

2018.3.1 会員数 215名

2019.3.1 会員数 159名(うち入会者22名、退会者67名)

なお、新学会会費未納者は退会者とした。

(4) 会計 (小針、松浦)

- ・日本家畜管理学会

2018年度収支決算書(資料2)

- ・応用動物行動学会

2018年度一般会計決算書(案)(資料3)

2018年度特別会計決算書(案)(資料4)

(5) 会計監査報告 (小針、松浦)

2) 動物の行動と管理学会の設立について(資料5) (矢用/八代田・竹田)

- ・会則等について
- ・組織、役員等について

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

- ・日本家畜管理学会および応用動物行動学会の会則の廃止について
- ・日本学術会議協力学術団体の登録手続きについて
- 1) 「日本家畜管理学会」：「動物の行動と管理学会」への変更届を提出する。
- 2) 「応用動物行動学会」：変更届により統合による解散を届け出る。

### 3) 2019年度事業計画

#### (1) 庶務関係 (八代田・竹田)

##### ①役員会、総会の開催

- ・ 2019年3月30日 麻布大学8号館5階8501教室において、11:50~12:50の間に、役員会を開催予定。
- ・ 2019年3月31日 麻布大学生命環境科学部棟101講義室において、11:00~12:00の間に、総会を開催予定。

##### ②研究発表会、シンポジウム等の開催 (八代田・竹田)

- ・ 2019年3月30日 麻布大学8号館7階8501教室および8505教室において、2018年度春季研究発表会を開催予定。
- ・ 2018年3月31日9:00~11:00 麻布大学生命環境科学部棟101講義室において、設立記念シンポジウムを開催予定。
- ・ 日本畜産学会第126回大会 (岩手大会: 2019年9月) において、若手研究者 (学位取得者) 報告会開催予定。

##### ③広報 (伊藤)

新ドメインを取得し、HPおよびMLを移行する。FBページについても新規運用を行う。会員相互の親睦を図ることを目的として年3回 (5、10、1月) を目標にニュースレターを発行する。ニュースレターは応用動物学会の形式を踏襲する予定である。

##### ④国際連携 (二宮)

- ・ 国際応用動物行動学会派遣等基金設立締結書の締結ならびに運用に関する申し合わせの変更について (資料6)
- ・ 国際応用動物行動学会派遣等基金によるISAE2019への参加助成について

#### (2) 編集 (河合)

学会誌「Animal Behaviour and Management」を第55巻として、次の通り発行する:

- 第1号 2019年3月25日発行済み
- 第2号 2019年6月25日発行予定
- 第3号 2019年9月25日発行予定
- 第4号 2019年12月25日発行予定

#### (3) 会計 (松浦)

動物の行動と管理学会

2019年度収支予算書 (案) (資料7)

2019年度特別会計予算 (案) (資料4)

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

## 資料 1

### メール会議（内容と結論）

年月	内容	結論
2018年3月	学会統合委員会による進捗状況の報告と提案 ・ 名称, 目的, 機関誌, 会員制度, 財務に関する提案	基本方向の承認と、課題の整理がなされた。
2018年4-7月	学会統合委員会における検討事項の依頼 ・ 事業内容, 会則, 組織体制案の取りまとめ	統合委員会各部会へ依頼。部会, 統合委員会で審議の上, 原案を作成。
2018年9月	臨時総会 ・ 新学会会則, 編集委員会規則および広報委員会規則案 ・ 学会運営体制および組織案 ・ 第1回研究発表会・総会案	審議の上, 了承された。第1回発表会は3/31麻布大学開催で承認された。
2018年11月	動物の行動と管理学会新理事案の提示	新理事案が了承され, 総会ではかることとした。
2018年11月	日本家畜管理学会・応用動物行動学会会員への学会統合にかかる会費納入方法の案内	会員に会費納入についての案内をした。
2018年12月	動物の行動と管理学会設立シンポジウム開催の提案	シンポ開催案が承認された。
	動物の行動と管理学会「入会手続きフロー」の確認 入会申請, 推薦人の承諾, 事務局による確認手続き, 会費納入方法の確認	新学会の入会手続きに関する流れが確認された。
2019年1月	動物の行動と管理学会設立シンポジウム内容および講演者に関する協議	シンポの内容と構成を確定し, 講演者を決定した。
	2019年度学会評議員会・総会の資料作成依頼	評議会・総会への資料作成依頼があった。
	2019年度学会評議員会・総会の進行についての確認	旧学会の廃止 新学会の設立 新学会理事の選出・承認等の確認がなされた。
2019年2月	動物の行動と管理学会設立記念講演開催の提案	研究発表会に引き続き, 設立記念講演を開催することとした。
その他	ABM誌原稿(54巻1号, 2号, 3号, 4号)について ・ 編集状況と学会記事執筆の依頼	編集状況の確認と原稿の作成
	ニューズレターの原稿(52号, 53号, 54号)について ・ 構成の確認と執筆依頼	構成の確認と原稿の作成

資料 2

日本家畜管理学会2018（平成30）年度収支決算書  
（2018. 3. 1 ～ 2019. 2. 28）

費目	決算	予算	差(決算-予算)	2017年度決算	差(2018-2017)
<b>収入の部</b>					
I 前年度繰越金	2,476,024	2,476,024	0	2,405,595	70,429
II 普通会員会費	643,328	432,000	211,328	445,500	197,828
III 購読会員会費	31,500	31,500	0	24,500	7,000
IV 賛助会員会費	30,000	30,000	0	20,000	10,000
V その他	602,195	580,200	21,995	976,409	-374,214
1. 会誌頒布代	3,500	0	3,500	0	3,500
2. 印刷費負担金	548,167	550,000	-1,833	410,886	137,281
3. 広告掲載料	0	0	0	0	0
4. 寄付金	0	0	0	0	0
5. 雑収入	50,525	30,000	20,525	275,517	-224,992
6. 預金利子	3	200	-197	6	-3
7. シンポジウム参加費	0	0	0	0	0
8. その他	0	0	0	290,000	-290,000
<b>収入合計(A)</b>	<b>3,783,047</b>	<b>3,549,724</b>	<b>233,323</b>	<b>3,872,004</b>	<b>-88,957</b>
<b>支出の部</b>					
I 事務費	85,131	300,000	-214,869	17,415	67,716
1. 備品費	0	0	0	0	0
2. 消耗品費	0	50,000	-31,369	1,140	17,491
3. 通信費	18,631	30,000	-30,000	16,275	-16,275
4. 会議費	0	100,000	-100,000	0	0
5. 謝金	55,500	100,000	-44,500	0	55,500
6. 雑費	11,000	20,000	-9,000	0	11,000
II 事業費	1,192,089	1,400,000	-207,911	1,378,565	-186,476
1. 会誌発行費	1,122,839	1,200,000	-77,161	1,128,065	-5,226
2. 研究会・総会開催費	69,250	100,000	-30,750	250,500	-181,250
3. シンポジウム開催費	0	100,000	-100,000	0	0
III 予備費	2,505,827	1,849,724	656,103	0	2,505,827
<b>支出合計(B)</b>	<b>1,277,220</b>	<b>3,549,724</b>	<b>-2,272,504</b>	<b>1,395,980</b>	<b>-118,760</b>
<b>余剰金(A)-(B)</b>	<b>2,505,827</b>	<b>0</b>	<b>2,505,827</b>	<b>2,476,024</b>	<b>29,803</b>

資料 3

2018年度決算(案)

項目	収入(円)		支出(円)		決算/予算 (%)
	2018予算	2018決算	2018予算	2018決算	
前年度繰越金	272,111	272,111	550,000	551,167	100
個人会費	430,000	910,000	60,000	72,060	120
賛助会費	0	0	10,000	0	0
雑収入	0	0	15,000	12,894	86
			1,000	0	0
			10,000	0	0
			2,000	489	24
			54,111	2,000	4
<b>合計</b>	<b>702,111</b>	<b>1,182,111</b>	<b>702,111</b>	<b>638,610</b>	<b>91</b>

収支差額 543,501

**個人会員:** 納入額:2011年度 ¥2,000、2012年度 ¥2,000、2013年度 ¥2,000、2014年度 ¥2,000、2015年度 ¥2,000  
2016年度 ¥2,000、2017年度 ¥32,000、2018年度 ¥240,000、旧学会2019年度 ¥16,000  
新学会2019年度 ¥568,000、新学会2019年度差額 ¥34,000、新学会2020年度 ¥8,000

**雑収入:** なし

**会誌発行費:** 管理学会との合同出版の経費負担分

**シンポジウム・学会費:** 東大大会会場費 ¥69,250、東大大会宅配便 ¥2,810

**通信費:** レンタルサーバ料 ¥10,090(管理学会と按分)、ドメイン更新料 ¥1,598、郵送料 ¥1,206

**手数料:** 振込手数料

**予備費:** 昨年度間違って振込まれた分の返金 ¥2,000

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

資料 4

応用動物行動学会 特別会計 2018予算  
 国際応用動物行動学会派遣基金 (設立 2016/03/31 当初 2,451,034円)

項目	収入(円)		支出(円)
前年度繰越金	2,351,265	研究発表者派遣補助	100,000
雑収入	20	事務費	1,000
合計	2,351,285	合計	101,000

2018年度末基金残高(計画) 2,250,285

雑収入 利子  
 事務費 振込手数料

応用動物行動学会 特別会計 2018決算(案)

2019/2/28

項目	収入(円)		支出(円)
前年度繰越金	2,351,265	研究発表者派遣補助	0
雑収入	20	事務費	0
合計	2,351,285	合計	0

2018年度末基金残高 2,351,285

応用動物行動学会 特別会計 2019予算(案)

国際応用動物行動学会派遣基金 (設立 2016/03/31 当初 2,451,034円)

項目	収入(円)		支出(円)
前年度繰越金	2,351,285	研究発表者派遣補助	100,000
雑収入	20	事務費	1,000
合計	2,351,305	合計	101,000

2019年度末基金残高(計画) 2,250,305



## 資料5

### 動物の行動と管理学会会則

第1条 本会は動物の行動と管理学会（Japanese Society for Animal Behaviour and Management）といい、その事務局を関係機関内におく。

第2条 本会はヒトと係わる動物である産業動物、伴侶（愛玩）動物、実験動物、展示動物、野生動物の行動と管理、ならびにそのウェルフェアに関する学術研究を振興し、情報交換を通じて、研究成果ならびに技術、知識の普及を図り、持続的社會と文化の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。  
1. 研究発表会およびシンポジウム等の開催  
2. 機関誌の発行  
3. 国内外の関連学会、ならびに研究会、団体等との協力  
4. その他、本会の目的を達成するに必要とする事業

第4条 本会の会員は、一般会員、学生会員、法人会員とする。一般会員は、本会の目的に賛同し、本会が対象とする学術領域またはそれと関連ある領域において、専門の学識・技術または経験を有する者とし、会費は年4,000円とする。学生会員は、本会の目的に賛同し、高校生、学部生、大学院生、研究生でどこからも給与を支給されていない者とし、単年度登録で会費は年4,000円とする。法人会員は、本会の目的に賛同し、本会の事業を後援する法人又は団体とし、会費は年12,000円以上（1口4,000円×3口以上）とする。

第5条 会員は本会の主催する各種の行事に参加することができる。ただし、機関誌への投稿、大会等における研究発表は、一般会員および学生会員に限る。

第6条 本会の会員になろうとする個人、法人又は団体は、役員会が別に定める所定の入会申込書を会長に提出しなければならない。

2 本会への入会の可否は、次の基準により第4条で定める会員資格に応じて、役員会で決定する。

(1) 以前に本会の会員であった者である場合は、過去に除名処分を受けたものでなく、かつ現在において未納会費がないものであること。

(2) 現在において前身である日本家畜管理学会又は応用動物行動学会の未納会費がないものであること。

(3) 暴力団その他の反社会的勢力に属するものでないこと。

- 第 7 条 会員は本会の事業活動に生じる費用に充てるため、会員になった時を含む毎年度、会則において別に定める会費を支払う義務を負う。既納の会費は、いかなる事由があっても返還しない。
- 第 8 条 会員は、退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。
- 第 9 条 会員が次の項目いずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。  
(1) 会則に違反したとき。  
(2) 本会の名誉を傷つけ、または目的に反する行為をしたとき。  
(3) その他除名すべき正当な事由があるとき。
- 第 10 条 前 2 条の場合のほか、会員は次のいずれかの項目に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。  
(1) 第 7 条の支払義務を 1 年以上履行しなかったとき。  
(2) 当該会員の死亡、又は法人会員である法人又は団体が解散したとき。
- 第 11 条 本会に役員として会長 1 名、副会長 2 名、理事 20 名以内(会長および副会長を含む)、監事 2 名を置く。
- 第 12 条 役員は、役員会を構成し、本会の会務について審議執行する。会長は会務を総理し、本会を代表する。副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。監事は事業、経理の妥当性を監査する。
- 第 13 条 役員は一般会員より選出し役員会の推薦により、総会の議を経て決定する。役員任期は 2 年とし、再任を妨げない。役員任期は総会の議により短縮することができる。
- 第 14 条 本会の事業を推進するため、総会の議決により委員会を設置することができる。
- 第 15 条 委員会の任務、構成及び運営に関する必要な事項は、総会の決議により別に定める規則によるものとする。
- 第 16 条 総会は一般会員および学生会員をもって構成する。総会は会長が招集・開催する。毎年 1 回、会計年度終了後 3 カ月以内に開催し、本会の運営上の重要事項について審議する。必要に応じて臨時総会を開くことができる。総会および臨

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

時総会は通常、対面形式により行う。ただし、緊急時に対面形式での開催が不可能な場合にはメール会議によることもできる。

第 17 条 総会の決議は、出席した一般会員および学生会員の過半数をもって行う。ただし次の決議は、出席した一般会員および学生会員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 会則の変更
- (4) 解散

第 18 条 本会の事業および会計の年度は毎年 3 月 1 日に始まり、翌年 2 月末日に終わる。本会の経費は会費、寄付金その他の収入をもって充てる。

第 19 条 本会々則の変更は総会の決議によらなければならない。

付則

平成 30 年 10 月 1 日制定

平成 31 年 4 月 1 日施行

## 動物の行動と管理学会編集委員会規則

- 第1条 この規則は、会則第14条の規定に基づき、第3条第2項の事業を遂行するための編集委員会の構成と運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 編集委員会は、会則第3条第2項の事業を遂行することを任務とする。
1. 機関誌の企画、編集、発行に関する事項
  2. 機関誌の「投稿規定」および「投稿の手引き」に関する事項
  3. その他、機関誌発行に関する必要な事項
- 第3条 委員会に委員長をおく。委員長は編集理事がこれにあたる。また委員長は、委員会の議長となり、会務を総括する。
- 第4条 委員会の委員は一般会員とし、合計数名程度とする。委員は役員会の推薦により、総会の議を経て決定する
- 第5条 委員会は必要に応じ、委員長が随時招集する。また委員会の議事は出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 第6条 この規則は総会の議決を経て改廃することができる。

付則

平成30年10月1日制定

平成31年4月1日施行

## 動物の行動と管理学会広報委員会規則

- 第1条 この規則は、会則第14条の規定に基づき、第3条第4項の事業を遂行するための広報委員会の構成と運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 広報委員会は、会則第3条第4項の事業を遂行することを任務とする。
1. 学会ホームページの作成および管理に関する事項
  2. メーリングリストの管理に関する事項
  3. その他、通信業務に関する必要な事項
- 第3条 委員会に委員長をおく。委員長は広報理事がこれにあたる。また委員長は、委員会の議長となり、会務を総括する。
- 第4条 委員会の委員は一般会員とし、合計数名程度とする。委員は役員会の推薦により、総会の議を経て決定する
- 第5条 委員会は必要に応じ、委員長が随時招集する。また委員会の議事は出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 第6条 この規則は総会の議決を経て改廃することができる。

### 付則

平成30年10月1日制定

平成31年4月1日施行

## 動物の行動と管理学会優秀発表賞等選考委員会規則（案）

- 第1条 この規則は、会則第14条の規定に基づき、第3条第4項の事業を遂行するための優秀発表賞等選考委員会の構成と運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 優秀発表賞等選考委員会は、会則第3条第4項の事業を遂行することを任務とする。
1. 優秀発表表彰に関する事項
  2. その他、表彰に関する必要な事項
- 第3条 委員会に委員長をおく。委員長は大会担当理事がこれにあたる。また委員長は、委員会の議長となり、会務を総括する。
- 第4条 委員会の委員は一般会員とし、合計数名程度とする。委員は役員会の推薦により、総会の議を経て決定する
- 第5条 委員会は必要に応じ、委員長が随時招集する。また委員会の議事は出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 第6条 この規則は総会の議決を経て改廃することができる。

付則

平成31年3月31日制定

平成31年4月1日施行

役員等一覧(案)

役員会									
会長							会務を総理し本会を代表する。		1名
副会長							会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。		2名
理事									
			総務理事				対学術協会事務、学界全体に関わる事務雑務、総会資料作成、各理事業務の把握と整理		2名
			大会担当理事				大会・懇親会の企画、大会事務局との交渉、シンポジウム企画・運営、夏の学 校企画・運営		4名
			会計理事				会計管理(一般会計および特別会計)		2名
			編集理事				学会誌編集、査読手続き、編集委員会委員長		2名
			広報理事				通信(ハード、ソフト)管理、広報委員会委員長		2名
			庶務理事				会員管理、メールアドレス管理		2名
			国際連携理事				関連国際会議との連携、ISAE派遣基金事務(会計を除く)		2名
監事									
編集委員会			委員長				編集理事1名		
広報委員会			委員長				広報理事1名		
優秀発表賞等選考委員会			委員長				大会担当理事1名		

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

動物の行動と管理学会2019年度役員(案)			
役員会	会長		矢用健一(農研機構畜産部門)
	副会長		青山真人(宇都宮大)
			友永雅己(京都大)
	理事	総務理事	八代田真人(岐阜大)
			竹田謙一(信州大)
		大会担当理事	新村 毅 (農工大)
			山梨裕美(京都市動物園)
			加瀬ちひろ(麻布大)
			福澤めぐみ(日大)
		会計理事	松浦晶央(北里大)
			多田慎吾(農研機構北農研)
		編集理事	河合正人(北大)
			田中正之(京都市動物園)
	広報理事	伊藤秀一(東海大)	
		小倉匡俊(北里大)	
庶務理事	小針大助(茨城大)		
	深澤 充(東北大)		
国際連携理事	二宮 茂(岐阜大)		
	加隈良枝(帝京科大)		
監事		山田明央(農研機構東北農研)	
		安江 健(茨城大)	
編集委員会	委員長(編集理事1名)		河合正人(北大)
	委員		新宮裕子(北海道立総合研究機構)
			池口厚男(宇都宮大)
			入交眞巳(日本ヒルズ・コルゲート株)
			リングホーファー 萌奈美(京都大)
			川口真以子(明治大)
			田中正之(京都市動物園)
			岩田恵理(岡山理科大)
			塚田英晴(麻布大)
			堂山宗一郎(農研機構西日本農研)
広報委員会	委員長(広報理事1名)		伊藤秀一(東海大)
	委員		林 英明(酪農大)
優秀発表賞 等選考委員 会	委員長(大会担当理事1名)		山梨裕美(京都市動物園)
	委員		山田明央(農研機構東北農研)
			田中正之(京都市動物園)
			小針大助(茨木大)
		福澤めぐみ(日大)	



役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

資料6

2019年 月 日

## 国際応用動物行動学会派遣等基金設立締結書

応用動物行動学会と日本家畜管理学会との統合にともない、これまで応用動物行動学会との間に締結されていた国際応用動物行動学会派遣等基金設立締結を動物の行動と管理学会が引き継ぐこととする。

第49回国際応用動物行動学会運営資金の一部を、我が国における応用動物行動学の発展のため、「国際応用動物行動学会派遣等基金」として負担し、その管理ならびに運用を動物の行動と管理学会が担うことに合意して、この文書を締結する。

本基金の運用にあたっては、以下に示す目的に照らし合わせ、適正な管理・運用がなされることを第49回国際応用動物行動学会組織委員会は動物の行動と管理学会に要請し、動物の行動と管理学会はこれを理解し、厳正なる管理を誓約する。

1. 本基金は、応用動物行動学の発展に寄与すると認められる者を、国際応用動物行動学会議へ派遣する経費として利用される。
2. 応用動物行動学の発展に寄与するために、今後開催される国際応用動物行動学会議の運営に関わる経費として利用される。
3. 上記学会の報告書作成ならびにその配布に関わる経費として利用される。ただし、動物の行動と管理学会会員のみといった限定された者への配布にはこれを利用できない。

第49回国際応用動物行動学会 組織委員会

動物の行動と管理学会

委員長 \_\_\_\_\_

会長 \_\_\_\_\_

## 国際応用動物行動学会議派遣等基金の運用に関する申し合わせ

動物の行動と管理学会は、第49回国際応用動物行動学会組織委員会との間に締結された基金利用の主旨に従い、本基金を国際応用動物行動学会議などへの派遣助成として利用するため、以下の申し合わせを定める。

- (1) 本補助への基金からの支出は年間10万円を上限とし、2名以内とする。
- (2) 助成対象者は、学会発表者として参加する者とする。
- (3) 本補助を希望する者(申請者)は、所定の用紙に必要事項を記載し、学会長宛に期日までに提出する。
- (4) 申請者は、動物の行動と管理学会会員でなければならない。また推薦者は、動物の行動と管理学会会員であることが望ましい。
- (5) 発表参加のための助成金交付者選考にあたり、会長は動物の行動と管理学会役員より申請者あるいは推薦者でない3名の選考委員を指名し、選考委員会を組織する。
- (6) 会長は選考委員会の委員長となり、申請者の中から助成金交付者を決定する。選考過程は、原則として公開されるものとする。
- (7) 選考にあたっての優先順位は以下のようにする。
  1. Applied Animal Behaviour ScienceまたはAnimal Behaviour and Managementに論文を投稿中、修正中または受理済み
  2. ISAEの口頭発表として受理されている
  3. 動物の行動と管理学会の研究発表会で優秀発表賞を受賞している
- (8) 学会発表者として交付を受けた者は、参加した学会の様子を動物の行動と管理学会NEWS LETTERで報告する。本義務が履行されない場合は、推薦者とも協議し、一定の猶予期間を設けた後、交付された助成金を学会へ返還する。

役員会・総会時には新たに配布いたしませんので、各自、印刷の上、持参下さい。

国際応用動物行動学会派遣等基金 参加助成申請書(発表参加用)

年 月 日

申請者(所属)	( ) E-mail: _____ ※申請者は動物の行動と管理学会会員であること
申請者の動物の行動と管理学会との関わり	(会員としての期間、学会での発表、役員としての期間などを記載)
推薦者(所属)	( ) E-mail: _____
推薦者の動物の行動と管理学会との関わり	(会員としての期間、学会での発表、役員としての期間などを記載)
<p>発表参加者として交付を受けた者は、参加した学会の様子を動物の行動と管理学NEWS LETTERで報告しなければならない。本義務が履行されない場合は、推薦者とも協議し、一定の猶予期間を設けた後、交付された助成金は学会へ返還しなければならない。</p> <p>(申請者) 上記内容に、同意する・同意しない (推薦者) 上記内容に 同意する・同意しない 　　いずれかに○を付ける</p>	

学会名	第 回 国際応用動物行動学会	
開催期間 (西暦) 年月日～年月日		
開催地 国名 都市名		
参加形態 (○を付ける)	口頭発表 ・ ポスター発表	
講演・発表の題名	(日本語・英語どちらも可)	
講演・発表の概要		

資料 7

2019年度 動物の行動と管理学会 予算案

項目	2019 予算	備考
収入の部		
旧学会繰越金	3,049,328	管2,505,827+応543,501
普通会员会費	1,044,000	管111、応159、重複マイナス29、新入会20で計261名
法人会費	0	
寄付金	0	
雑収入	30,000	学著協
預金利子	0	
収入合計	4,123,328	

支出の部		
備品費	0	
消耗品費	15,000	角印、振込用紙、封筒、ファイルなど
通信費	140,000	レンタルサーバー、郵便、HP・ML関連
会議費	0	
謝金	0	
雑費	20,000	
会誌発行費	890,000	1号のみ印刷、2-4号は20部、送料、JSTAGE搭載
研究会・総会開催費	35,000	麻布大
シンポジウム開催費	125,000	麻布大25,000、岩手大100,000
若手懸賞費	70,000	優秀発表20,000、ISAE以外国際学会派遣支援50,000
予備費*	2,828,328	
支出合計	4,123,328	

\*予備費の用途のうち、次年度以降の新企画事業として計上する分は別表の通りである。

別表 予備費の用途 支出予定項目	予算
2020 夏の学校	300,000
2020 シンポジウム	300,000
2020 根釧独立開催補助	120,000
2020 現地検討会	320,000
2021 現地検討会	320,000
合計	1,360,000